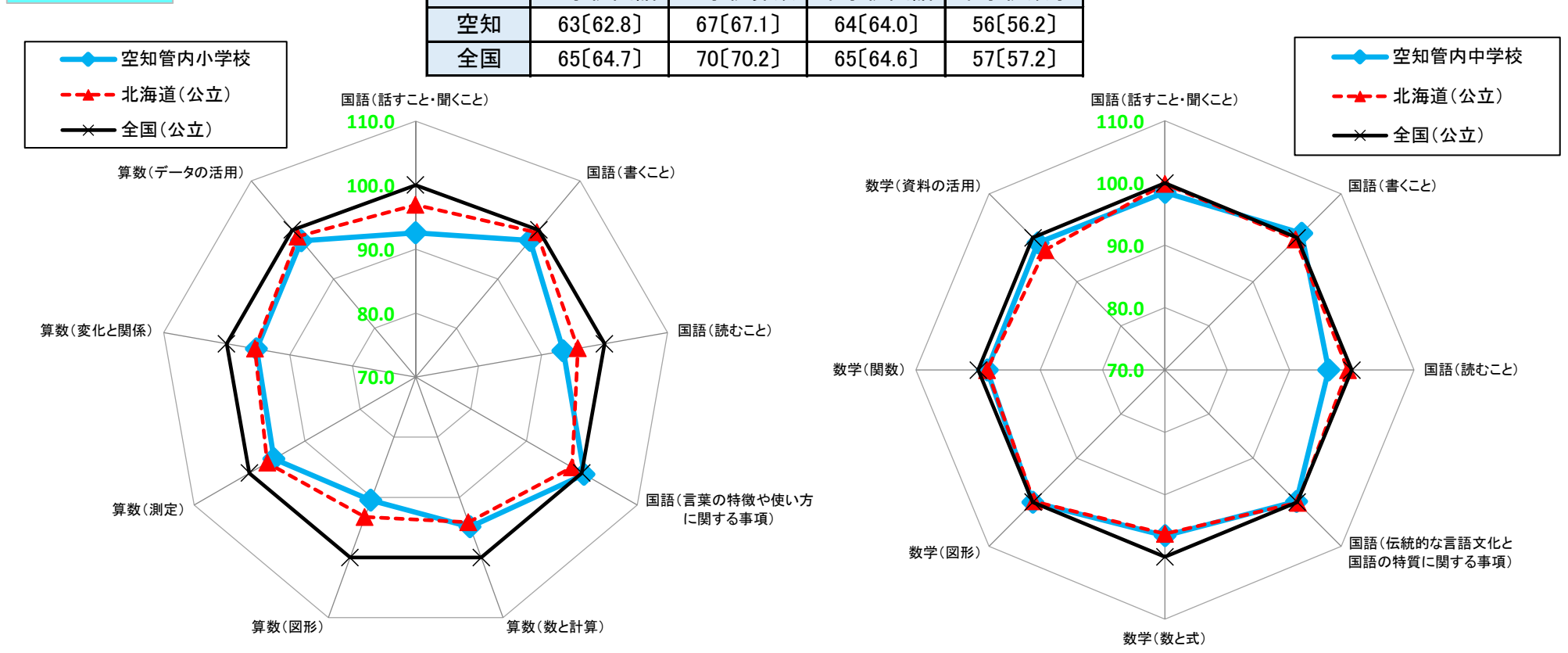


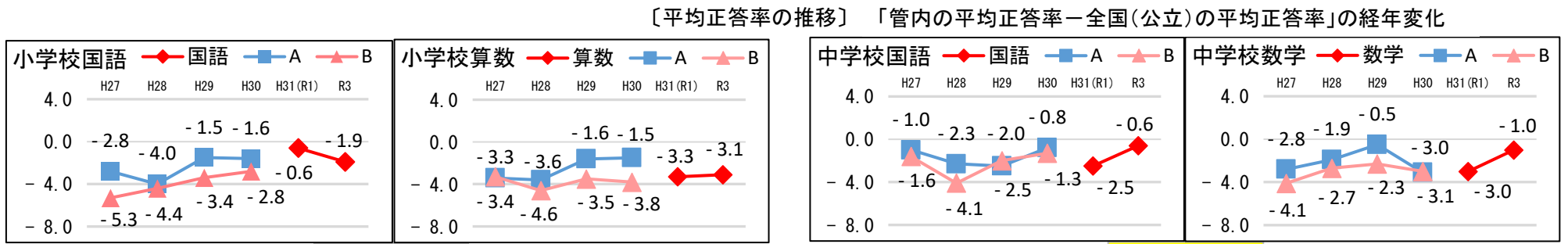
2 管内の状況、分析及び学力向上策

■空知の状況及び学力向上策 (小学校数:58校、児童数:1719人)(中学校数:40校、生徒数:1813人)

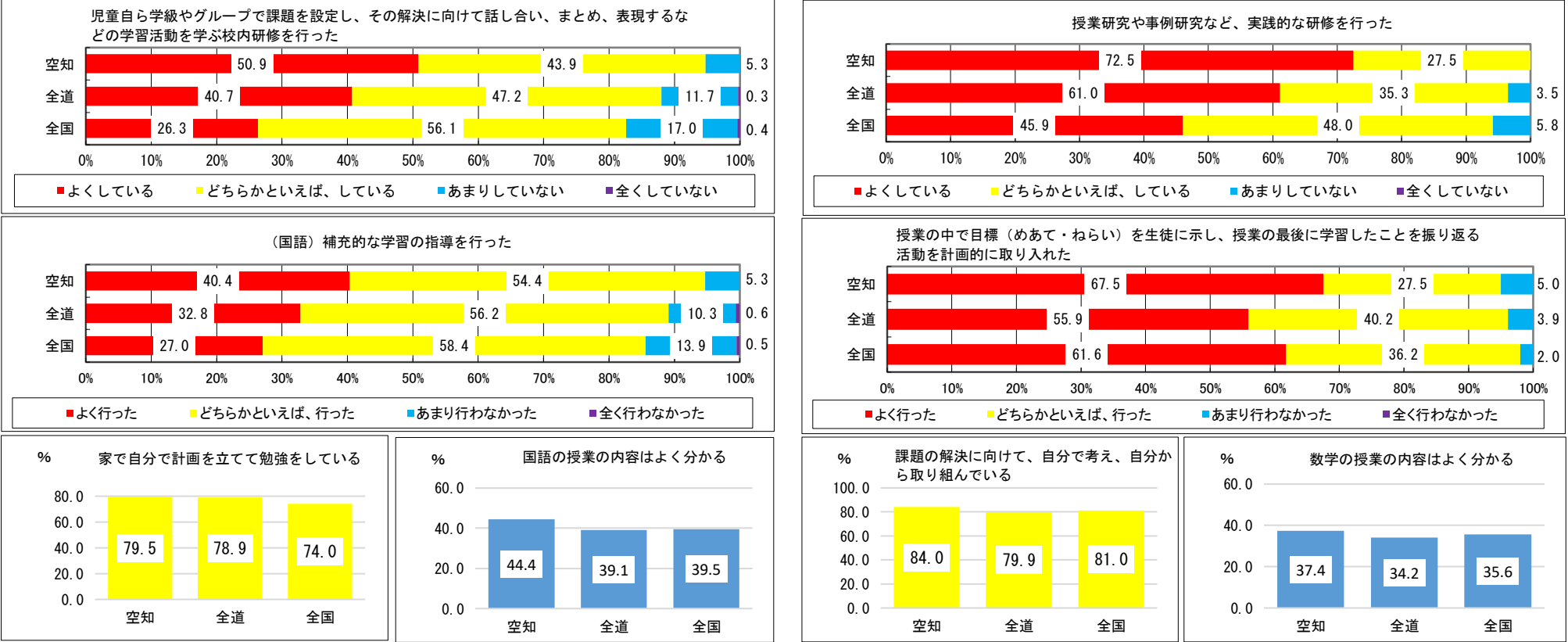
小学校 【教科全体の状況】 中学校



教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの (管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【質問紙の状況】 小学校 中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

管内の多くの小学校において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行ったり、「オール空知の取組」に基づき、中学校区で設定した家庭学習強化週間と関連させた取組を継続したりしたことにより、家で自分で計画を立てて勉強をしている児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

管内の多くの小学校において、国語で補充的な学習の指導を行うとともに、「オール空知の取組」に基づき、児童の学習の習得状況の把握と指導の改善を通して「わかった」「できた」という自信を育成する取組を行ったことにより、国語の授業の内容がよく分かる児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

管内の多くの中学校において、授業研究や事例研究など、実践的な研修を行ったり、「オール空知の取組」に基づき、「教員の授業改善」と「生徒の学習に臨む姿勢の形成」を一体的に捉えた取組を推進したりしたことにより、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

管内の多くの中学校において、授業の中で目標(めあて・ねらい)を生徒に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れたり、「オール空知の取組」に基づき、日常の授業から、調査問題等を評価問題に活用し、個の状況を踏まえた学び直しを大切にする取組を行ったりしたことにより、数学の授業の内容がよく分かる生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。

【空知の学力向上策】 については、次ページの学力向上の取組を参照ください。

空知管内における学力向上の取組

1. 管内課題と重点的な改善策

(1)確かな学力の定着～全国学力・学習状況調査やC R T・N R T検査の結果を活用した取組

- 各学校で行っている各種調査の自校採点、分析、具体的な改善方策が、児童生徒の「確かな学力の定着」につながっているかを確実に検証できる校内体制を確立し、各学校が確実に「学びの質の向上」につなげる取組を推進する必要がある。
- 学習の習得状況の把握と指導の改善を通して「わかった」「できた」という自信を育成する取組の推進
- 日常の授業から、調査問題等を評価問題に活用し、個の状況を踏まえた学び直しを大切にしたい取組の推進

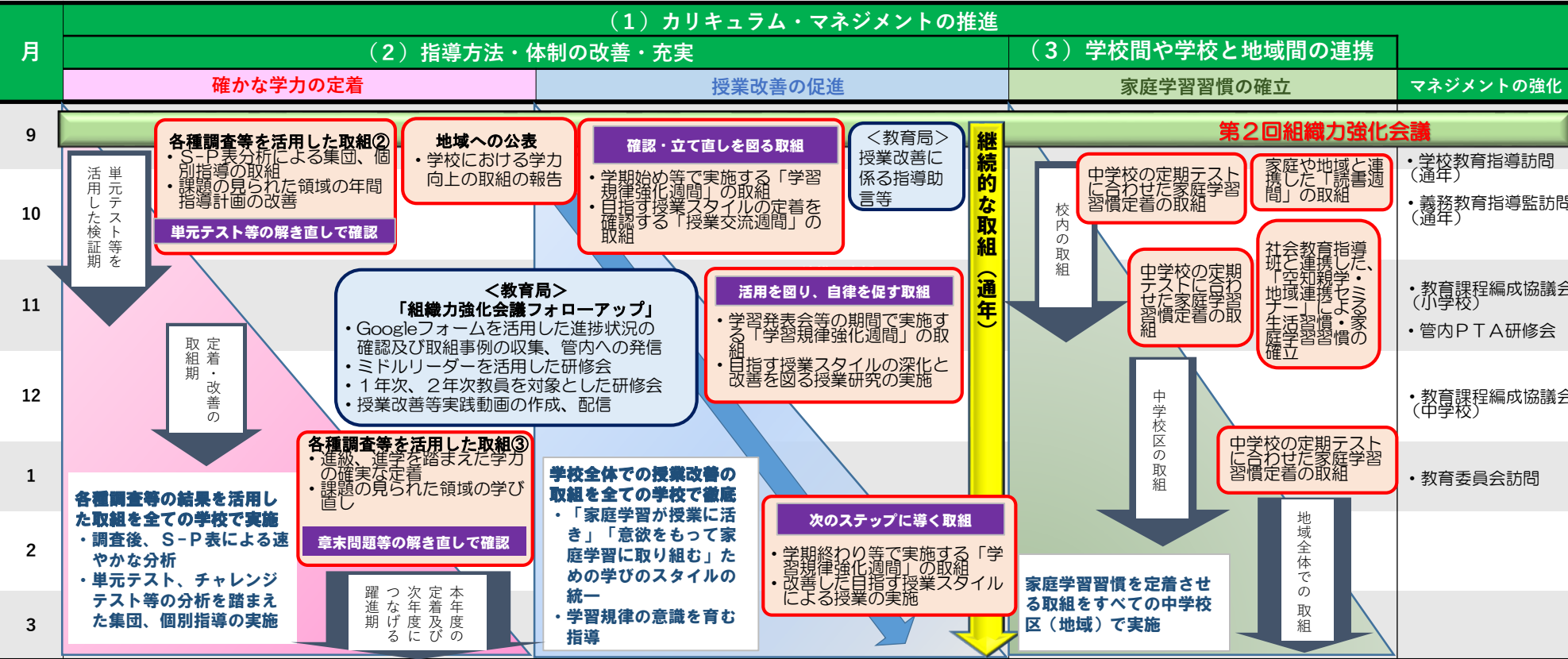
(2)授業改善の促進～学校全体での授業改善と学びに臨む姿勢の形成の一体的な取組

- 前年度の授業改善の成果が新年度に全ての教員の取組として浸透していない学校が見られることから、年度当初から校内で授業スタイルや学習規律を統一し、授業実践を通じた深化、改善を図る必要がある。
- 学びのスタイルを4月に示し、授業改善を“D（実行）モード”で推進
- 学校生活の節目（長期休業明け、大きな行事後、年度のまとめ）を大切にしたい指導
- 「教員の授業改善」と「子どもたちの学習に臨む姿勢の形成」を一体的に捉えた取組の推進

(3)家庭学習習慣の確立～保護者や校種間と連携した家庭学習習慣を定着させる取組

- 家庭学習習慣が定着していない状況が見られることから、家庭や他校種と連携した取組を進める必要がある。
- 「学びのスタイルの統一」によって、4月当初から「家庭学習と授業」の結び付きを理解させ、意欲をもって家庭学習に取り組めるようにする取組の推進
- コミュニティ・スクールを生かし、地域一体での「学習習慣の定着」「ゲームやメディア利用の制限」「本や活字に触れる機会の拡充」等の取組の推進

2. 具体的な取組



3. 取組の評価

(1)確かな学力の定着

- ①「調査問題等の理解と分析に基づいた指導の成果を調査問題等で確認している学校」
(管内教育推進の重点の評価)
 - ・現状 小… 70%、中… 63%
 - ・目標 小…100%、中…100%
 - ・達成値 小…「1月に評価」
中…「1月に評価」
- ②「これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。」
(R3児童生徒質問紙調査)
 - ・現状 小… 75%、中… 76% ※R1実績
 - ・目標 小…100%、中…100%
 - ・達成値 小… 77%、中… 84%

(2)授業改善の促進

- ①「自校の授業スタイルに基づき、授業を実施している教員数が半数以上の学校」
(管内教育推進の重点の評価)
 - ・現状 小… 98%、中… 90%
 - ・目標 小…100%、中…100%
 - ・達成値 小…「1月に評価」%
中…「1月に評価」%
- ②「友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。」
(R3児童生徒質問紙調査)
 - ・現状 小… 73%、中… 76% ※R1実績
 - ・目標 小…100%、中…100%
 - ・達成値 小… 80%、中… 78%

(3)家庭学習習慣の確立

- ①「中学校区ごとの家庭学習強化週間の実施状況」
(管内教育推進の重点の評価)
 - ・現状 小… 91%、中… 90%
 - ・目標 小…100%、中…100%
 - ・達成値 小…「1月に評価」
中…「1月に評価」
- ②「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(学校の授業の予習や復習を含む。)」
(R3児童生徒質問紙調査)
 - ・現状 小… 69%、中… 48% ※R1実績
 - ・目標 小…100%、中…100%
 - ・達成値 小… 80%、中… 64%

4. 改善点

(1)確かな学力の定着

- ・「組織力強化会議」における全国学力・学習状況調査等の結果を活用した取組に係る好事例の収集と発信を行い、組織力強化会議後の各学校へのフォローアップを行う。
- ・「S-P表」の効果的な活用、計画的な「解き直し」の実施において、学校間に取組の差が見られることから、学校教育指導訪問等において、具体的な活用に向けた指導助言を行う。
- ・管内における好事例等の収集や発信については、Google workspaceを活用して資料を提供するなど、積極的な活用を推進していく。

(2)授業改善の促進

- ・授業スタイルや学習規律の一体的な取組を進めている学校の好事例を発信し、各学校における授業改善を促進させていく。
- ・ICTを活用した授業改善について、学校間に取組の差が見られていることから、1人1台端末やデジタル教科書を活用した授業改善の実践事例等について研修資料を作成する。
- ・ミドルリーダー等による優れた教育実践をミニ動画として作成し、空知教育局Youtubeチャンネルで配信し、各学校における校内研修等の活性化を図る。

(3)家庭学習習慣の確立

- ・多くの学校で家庭学習習慣の定着に課題意識をもっていることから、小中連携による効果的な家庭学習の取組や中学校区における「家庭学習強化週間」の取組、1人1台端末を活用した家庭学習の実施における好事例を収集し、学校教育指導訪問等で管内に周知する。
- ・社会教育指導班による「空知親学・地域連携セミナー」において、地域、保護者に望ましい生活習慣、家庭学習習慣に関わる効果的な取組等に向けた改善方策を示すなど、各学校への支援を行う。